



地域日本語教育支援事業報告



地域における日本語教育の連携 推進について

財団法人浜松国際交流協会
堀 永乃

地域日本語連携推進協議会



趣旨

企業と地域と行政の連携による外国人労働者のための日本語教育支援について、協議を行う

多方面から関係者が集結！！

委員

ヤマハ発動機（株） I Mカンパニー、静岡文化芸術大学、財）海外技術者研修協会、浜松商工会議所、弁護士、日本語ボランティア、ハローワーク浜松、浜松市、国立国語研究所、（財）浜松国際交流協会

企業内日本語教室のはじまり

✍️ 「生活者＝労働者」

外国人の事情

「日本語を勉強したくても勉強できない」

→時間がない、場所が遠い・・・など

企業に教室作ろう！

✍️ ヤマハ発動機（株） I Mカンパニー

『石岡 修』との出会い。人、人、人。

ヤマハ発動機の社風。「感動創造企業」

すべてがやってみなきゃわからない。

企業内日本語教室のあゆみ



第1期
文型積み上げ型

5・23事件発生
読み切り型へ



第2期
ゲストを迎える

交流を取り入れ
相互理解を図る



第3期
実践イベントの導入

実践型ロールプレイ
他機関への協力要請

PDCAサイクル版日本語教室の確立

Plan 目標を設定、計画・設計

Do 実施

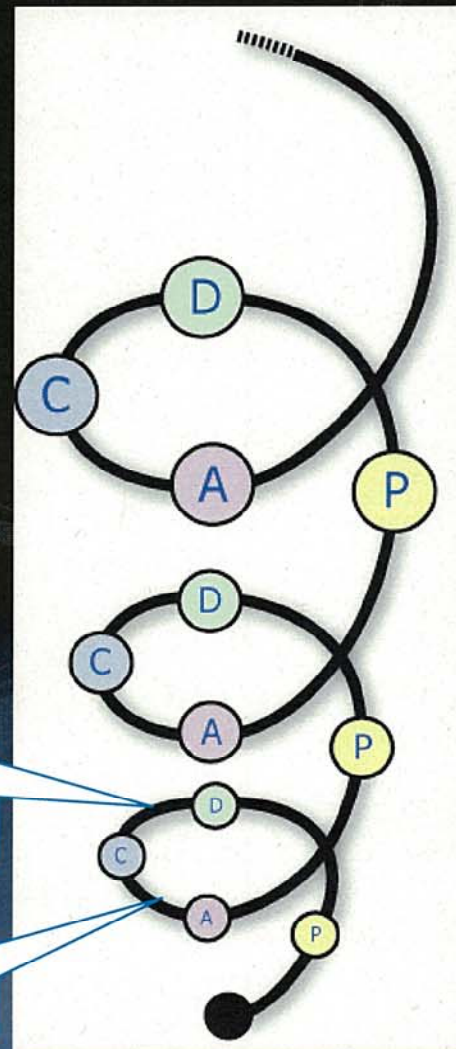
Check 評価・分析

Act 改善・向上に必要な措置

とにかく楽しく！
会話を引き出す
教室活動が必要

教室アンケート
の実施

担当者間会議



企業内日本語教室の効果

✍ 人と人を結ぶ人間関係づくり

豊かなコミュニケーションが生まれる
社内環境の充実

✍ 従業員の人材育成

外国人の日本語能力と日本人の異文化理解

✍ 地域に開かれた企業、企業の社会的責任

・・・そして、現在

杏林堂薬局

薬を買うときに必要な表現のみならず
ブラジルと日本の処方箋の違いも学びました



日本マクドナルド

ドライブスルーでの日本語会話、レベル
別ロールプレイで実践。交流もしました。



見えてきた課題

？ カリキュラムの作成

？ 日本人従業員の認知
と積極的な参加

？ 日本語学習支援者の
育成



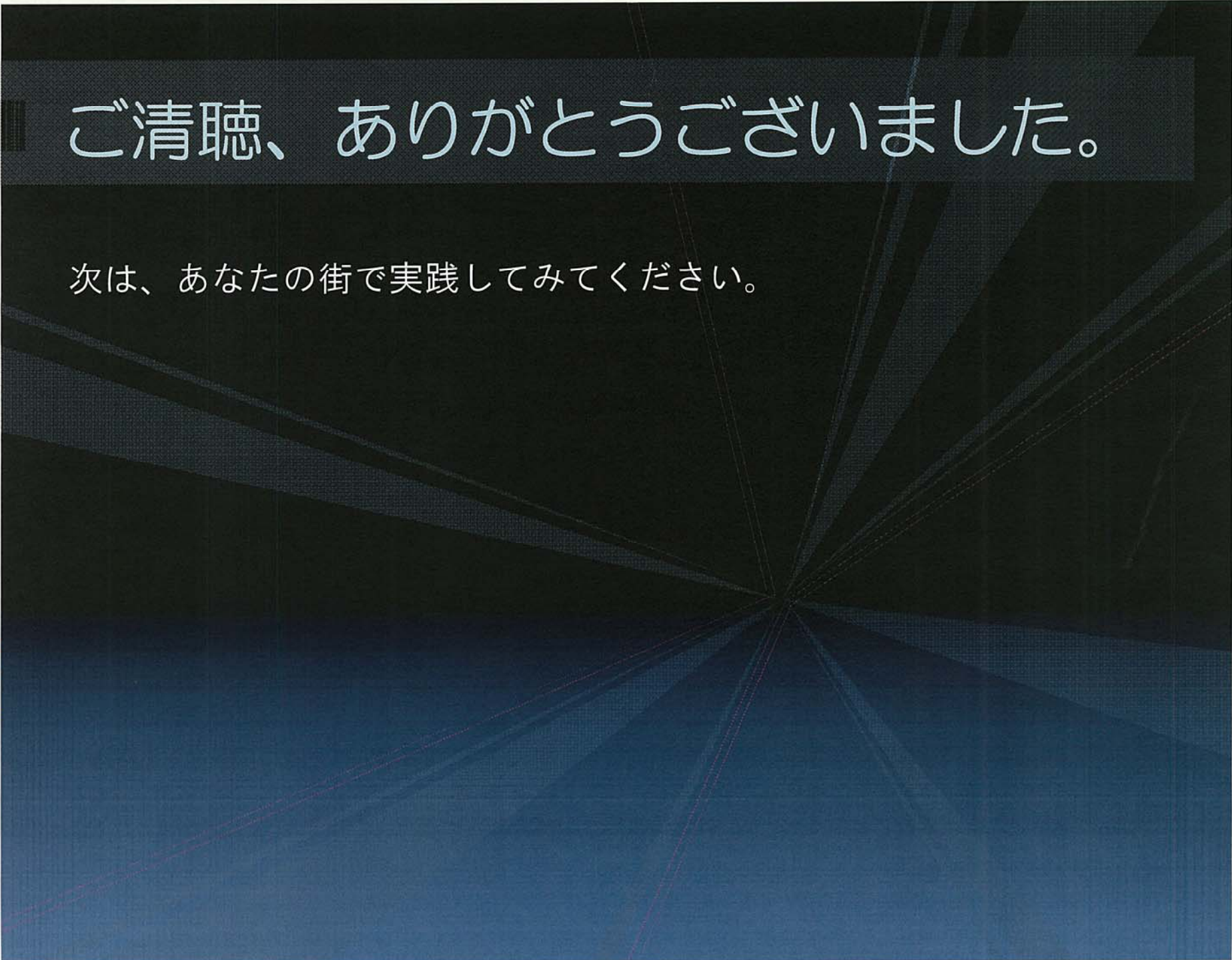
最後に

✍️連携づくり

✍️コーディネータの役割

✍️Win-Winの関係





ご清聴、ありがとうございました。

次は、あなたの街で実践してみてください。